（注１）当期増加額は前中期目標期間の最終年度の未処分利益206,507,584円及び目的積立金の使用残高270,078,470円を加えた額であります。
当期減少額のうち、今中期目標期間の業務の財源として繰越の承認を受けた額は1,012,918,218円であり、それを除いた679,032,208円については国庫に納付しております。
（注２）当期減少額は、独立行政法人会計基準第94により、中期目標期間最終年度の利益処分において積立金に振替えた金額であります。
（注３）当期増加額は、今中期目標期間の業務の財源として繰越の承認を受け前中期目標期間繰越積立金へ振替えたものであります。
当期減少額は⒁「目的積立金の取崩しの明細」を参照。

⒁　目的積立金等の取崩しの明細

（単位：円）

区分		金額	摘要
その他	前中期目標期間繰越積立金	41,790,000	固定資産の取得
その他	目的積立金	270,078,470	中期目標期間終了時における積立金への振替
計		311,868,470	

⒂　運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

①運営費交付金債務の増減の明細

（単位：円）

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小計	
平成20年度	0	11,022,899,000	10,052,090,426	517,492,864	30,928,400	10,600,511,690	422,387,310
合計	0	11,022,899,000	10,052,090,426	517,492,864	30,928,400	10,600,511,690	422,387,310

②運営費交付金債務の当期振替額の明細

20年度交付分

（単位：円）

区分			金額	内訳
費用進行基準による振替額	基金区分	運営費交付金収益	174,652,931	①費用進行基準を採用した業務：すべての業務。 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：10,052,090,426円 （国立劇場公演等事業費：4,485,711,983円、新国立劇場公演等事業費：4,338,862,245円、基金助成事業費：174,652,931円、一般管理費：1,052,863,267円） イ）固定資産の取得額：548,421,264円 （建物：113,334,476円、機械装置：51,279,039円、工具器具備品：352,730,437円、ソフトウェア：148,912円、図書資料：30,928,400円） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 運営費交付金を財源とする経費及び固定資産取得の金額全額を、それぞれ運営費交付金収益、資産見返運営費交付金及び資本剰余金に計上。
	国立劇場区分		5,483,476,317	
	新国立劇場区分		4,393,961,178	
	基金区分	資産見返運営費交付金	0	
	国立劇場区分		218,571,840	
	新国立劇場区分		298,921,024	
	基金区分	資本剰余金	0	
	国立劇場区分		30,928,400	
	新国立劇場区分		0	
合計			10,600,511,690	